

ある交通事故をきっかけに

松陽小学校 鶴貝 碧透

みなさんはしっかり左右を確認して横断歩道を渡っていますか。最近では歩きスマホをする人が多くなってきています。歩きスマホをしていると事故に巻き込まれる可能性があります。

ぼくはいつも、ニュースを見ていますが交差点では軽自動車とトラックのしょうとつ事故や、小学生が下校時、自動車としょうとつなどの交通事故のニュースを一番よく目にします。このような交通事故をある時まで、他人事だと思っていました。

ある日の朝、学校へ行くのに外に出てみると、横断歩道の近くにガラスの破片が飛び散っていました。そして近くの塀に、穴が空いていました。近くにいた人から話を聞くと、前日の夜に、車と横断歩道を渡っていた人がしょうとつしたということが分かりました。そして横断歩道を渡った人は、なんと歩きスマホをしていたということを知りました。スマホに夢中になっていたため、目の前の車に気づかず飛び出してしまったのです。その人は、軽い傷ですんだそうです。しかし、しょうとつした時のしょうげきが強かったら、軽い傷ではすみません。入院や歩けなくなってしまうけがにつながるかもしれません。

ぼくはこの日をきっかけに、交通事故を他人事だと思ふのはやめ、常に気をつけて道を歩くことにしました。このように危険はいつ訪れるかわかりません。もし車を運転する人が常日頃から気をつけていたとしても、歩行者が歩きスマホやよそ見をしていては、意味がありません。だから、たとえどのような用事があるとしても、決してよそ見をしてはいけません。このように交通事故が起きてからでは遅いです。だからみなさん、事故に巻き込まれないように、横断歩道は左右をしっかり見てから渡りましょう。または歩きスマホをやめましょう。そして安全に過ごしましょう。